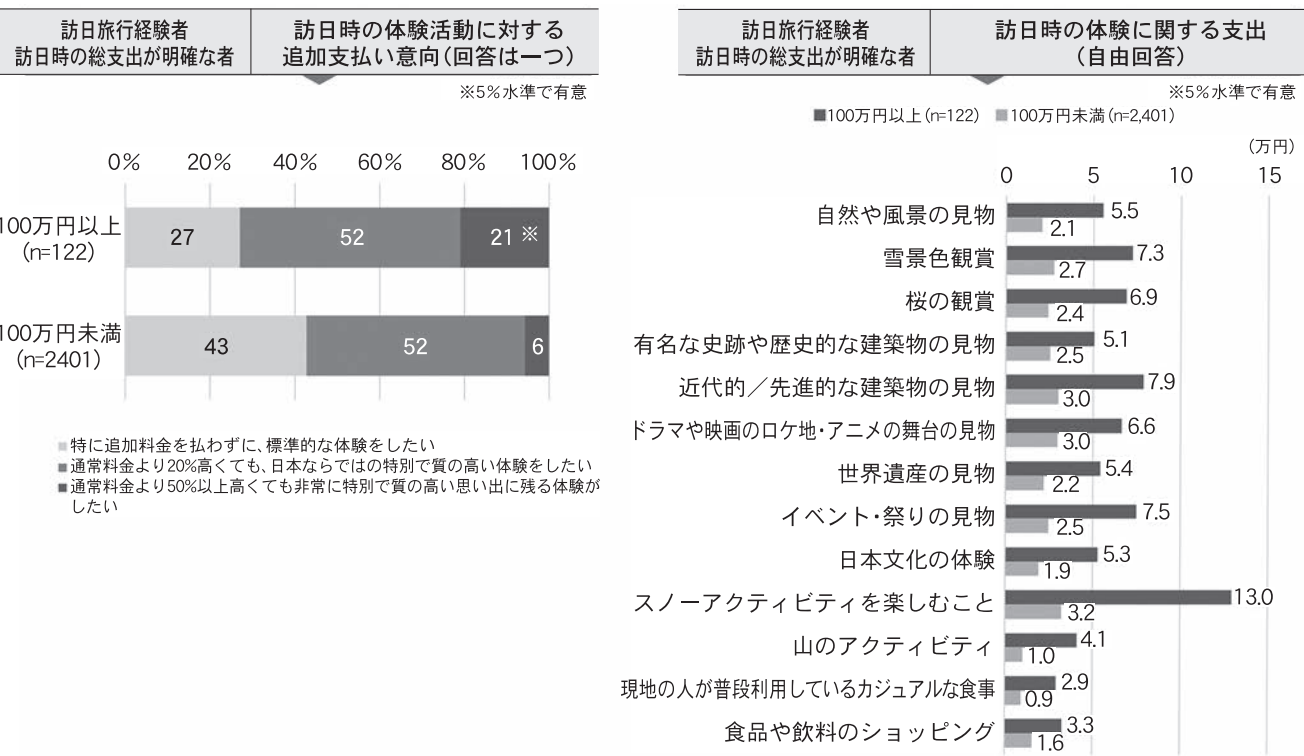
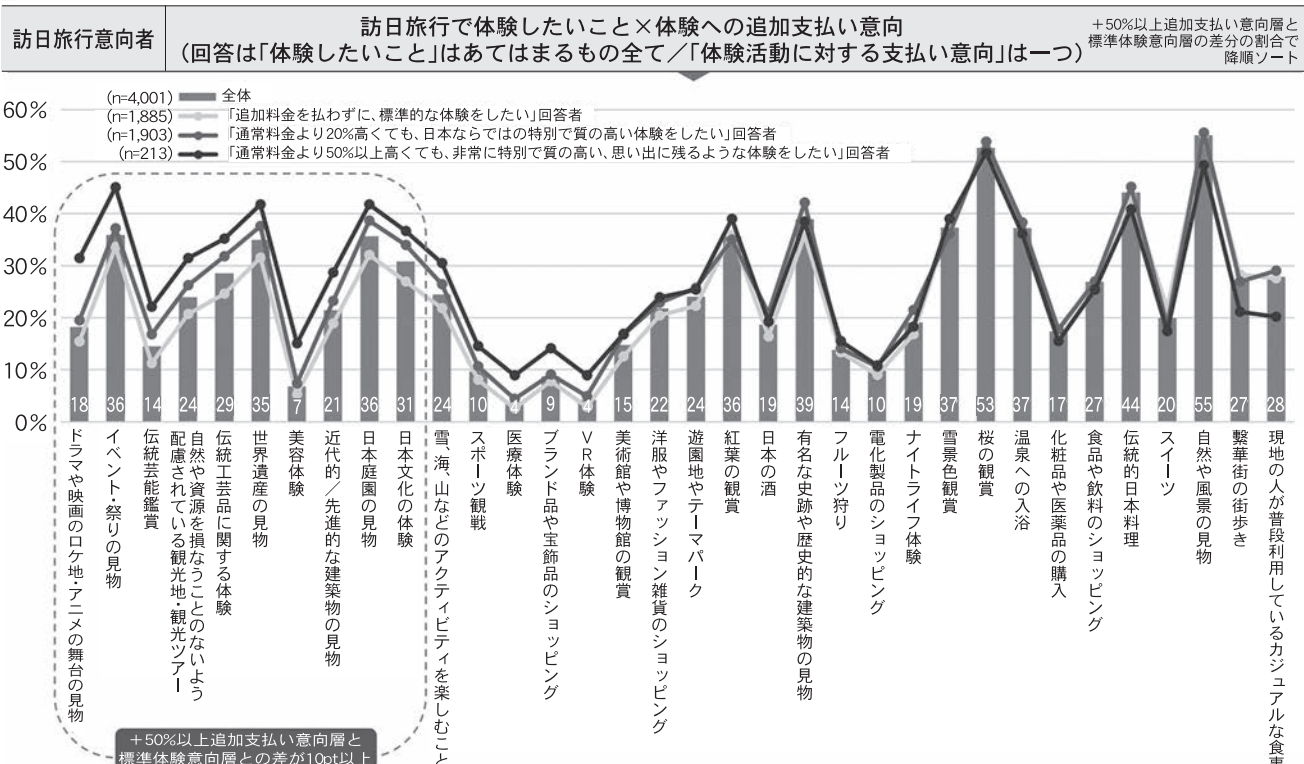
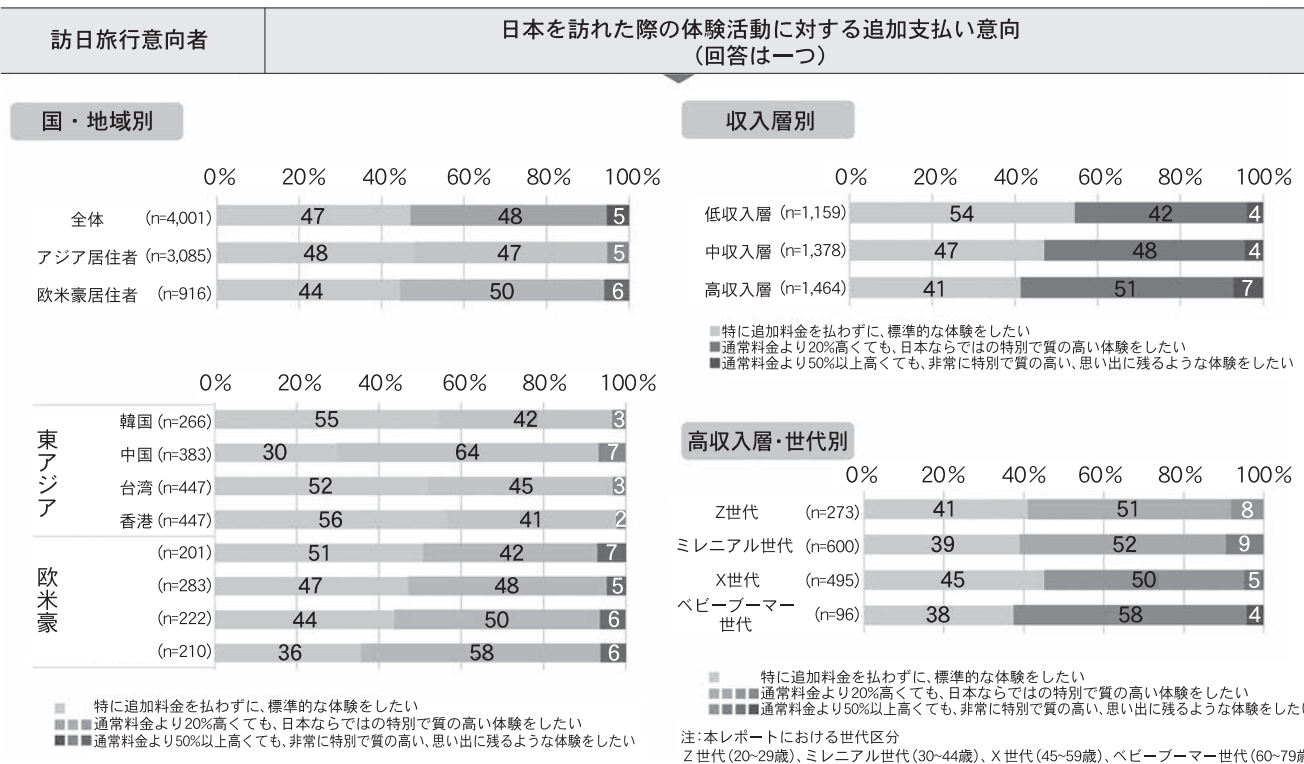


地方訪問意向高く、各地に可能性

DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査2025年度版



株式会社日本政策投資銀行(DBJ)と公益財団法人日本交通公社(JTBF)は、このほど共同で、調査レポート「訪日外国人旅行者の意向調査2025年度版」を公表した。これによるとアジア・欧米豪ともに海外旅行先としての日本の人気は高く、地方訪問意向も高いことが分かった。また、実施したい活動はあったもので多くが実施場所未定で、両者は「どの地域にも誘客の余地がある」と分析する。高付加価値旅行者層の意向や行動についても調査。同層が訪日旅行に自己実現と本物の体験を求めることや、体験の質の向上や観光地の地域保全のために追加支払いをする意向が高いことも分かった。

調査は2012年から毎年行っているもの。アジア・欧米豪の12の国・地域に居住する20〜79歳の海外旅行経験者を対象に、25年7月にインターネットで実施した。回答者は7413人。アジア居住者、欧米豪居住者ともに「次に観光旅行したい国・地域」は、地方観光で体験したい訪問意向、地方訪問経験がともに増加。一方で欧米豪の場合、地方訪問意向は訪日経験に比例して増加するものの、地方訪問経験については「旅先の環境や文化保全への貢献意識が明確」と指摘する。

高付加価値旅行者層は追加支払いにも前向き

